

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県産業文化センター
指定管理者	公益財団法人埼玉県産業文化センター
評価対象年度	令和6年度
施設所管課	産業労働政策課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	事故なく安全に運営された。
	法令等の遵守	A	施設の法定点検等は、的確に行われた。
	平等利用の確保	A	条例に定める利用日等は遵守され、利用許可も適切に行われた。
施設の設置 目的の達成	産業振興事業の実施	A	県との協力体制のもと11事業を実施し、目標(8事業以上)を上回った。 また、埼玉県唯一の複合コンベンション施設として、催事の誘致・支援に努めた。
	文化振興事業の実施	A	日本フィルハーモニー交響楽団さいたま定期演奏会を中心に、17事業を実施した。(目標:14事業以上) さいたま市内の小学校15校へ日本フィルハーモニー交響楽団の団員が出向いて実施したコンサートには、計6,056人が参加した。
	利用状況	A	リピーターや新規顧客の獲得に向けた営業努力により、93.3%を達成、目標(92%)を上回った。
	適切な管理の履行	A	協定書や事業計画に基づき適切な管理が行われた。
	財産の適切な管理	A	備品については、備品台帳との整合性を常に確認し、適切な管理が行われていた。
	県内中小企業者、環境、障害者雇用等への配慮	A	県内中小企業者の受注機会の増大、環境負荷の低減に配慮した物品等の購入や障害者就労施設等からの調達に努めるなど、適切な配慮がなされた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	新たにユニット制を導入し、顧客の利用ジャンル及び催事規模に応じて複数人のチームで対応することにより、利用者サービス向上と業務効率化を図った。
	利用者の満足度	A	利用者アンケートにおいて、「大変よい」「よい」と回答した者の割合は99.1%で、高い割合となった。
総合評価		A	高い水準で管理が行われている。

特記事項	特に評価すべき点	安心・安全な施設運営の維持・向上に努めるとともに、利用者ニーズを反映させた質の高いサービスを提供し、利用者の高い満足度を獲得した。 営業努力により施設の利用率や利用料収入はコロナ禍以前の水準を回復した。
	次年度に向けて改善が望まれる点	人件費や光熱費に係るコスト増など、貴団体を取り巻く経営環境は厳しさが見込まれるため、利用者サービスの更なる向上策及び収支改善に関する取り組みの継続に引き続き努められたい。 県や産業支援機関、商工団体等と適切に連携しながらより積極的に事業を実施し、県内の産業振興や雇用促進に努めることが望まれる。